



文章中の空欄に入る都市に関連する出来事を選ぶ問題

共通テスト

河合塾

第2問 問2

第2問 世界史探究の授業で、世界史上の都市の歴史をテーマに、生徒たちが発表に向けた準備をしている。それらの活動に関連した次の文章A～Cを読み、後の問い(問1～7)に答えよ。(資料には、省略したり、改めたりしたところがある。)
(配点 20)

A 渡辺さんのグループは、調査の過程で、14世紀半ばの都市 **ア** の状況について書かれた年代記の一部(資料)を手に入れた。その資料について、渡辺さんと先生が話をしている。

資料

ア における疫病は、女性と子供、小売商から始まり、ついには死者の数が増大した。スルタンは、郊外へ移動し、イスラーム暦の第7月1日から20日までそこに滞在した。彼は、**ア** の城塞に戻ろうとしたが、郊外に逗留するように説得された。**イ** による死者の数は毎日300人に達し、第7月の末には毎日1000人以上に達した。アズハル＝モスクなどでは、数日にわたりハディースの文言が唱えられ、人々はアッラーに祈願した。この疫病においては、罹患するとすぐに死に至るため、誰も薬や医者が必要としなかった。第10月の半ばには、既に通りや市場が死体で埋め尽くされていた。

渡 辺：資料は、当時、ヨーロッパで流行していた **イ** が、地中海交易圏の都市 **ア** で猛威を振るった様子を伝えるものです。

先 生：ヨーロッパ同様、人口が密集する都市部での急速な感染拡大の様子がうかがえますね。

渡 辺：この都市の代表的なモスクで、人々が疫病の終息を祈っている姿が、印象的です。

問2 資料に記された時期の **ア** を支配していた王朝について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

- ① ベルベル人が中心となって成立した王朝で、北アフリカとイベリア半島を支配した。
- ② 北アフリカに興ったシーア派の王朝で、君主はカリフを称した。
- ③ 奴隷軍人が中心となって成立した王朝で、モンゴル軍の西進を阻止した。
- ④ クルド系の軍人が創始した王朝で、十字軍からエルサレムを奪回した。

冬期講習

共通テスト傾向対策 歴史総合、世界史探究テスト
第5講 第4問 問4

B オスマン帝国は、15世紀半ばに黒海と地中海を結ぶ主要都市である **ウ** を征服した後、地中海東岸から北アフリカへと版図を拡大し、ロードス島やキプロス島などの島々を支配下に置いたことで、16世紀までに黒海を内海とし、地中海の東部・南部を手中に収める大帝国を形成した。18世紀頃から帝国内諸民族の離反やヨーロッパの圧力に苦しむようになると、ロシアが黒海から地中海への南下を試みたものの、これを警戒したイギリスが、**ロシアの南下**を阻止する動きをとった。こうして、長らくオスマン帝国の独壇場であった黒海や地中海東岸は、ヨーロッパ諸国の脅威にさらされることとなった。

問4 文章中の空欄 **ウ** の都市の歴史について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **17**

- ① 国際商業の中心となり、「世界の半分」と称された。
- ② コンスタンティヌス帝が、ローマ帝国の都とした。
- ③ ファーティマ朝が、新都として建設した。
- ④ 第1回十字軍が、ラテン帝国を建国した。

特定の都市に関連する出来事を選ぶ四文正誤問題。どちらの問題でも都市名が空欄となっているため、文章中の内容から空欄に入る都市を判断する必要がある。なお、共通テスト本試ではカイロ、「傾向対策歴史総合、世界史探究」ではイスタンブールと、いずれもイスラーム世界の版図となる都市が問われており、どちらの選択肢にもファーティマ朝と十字軍に関する内容が問われている。